

## 題材名「光を描こう！逆デッサン」

学校	県立奈良南高校	氏名	西岡田 朋夏	科目	美術Ⅱ	学年	2	時間	5
----	---------	----	--------	----	-----	----	---	----	---

### 1 題材の目標

#### 【知識及び技能】

- ・「自分の手」の形や色彩、素材などの性質やそれらが感情にもたらす効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。〔共通事項〕
- ・明暗や光の質感などを捉え黒画用紙と色鉛筆の特性を生かすとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、主題を追求して個性豊かで創造的に表す。「A表現」(1)イ

#### 【思考力、判断力、表現力等】

- ・対象となる「自分の手」を深く見つめ、明暗や光の質感などの美しさを総合的に考えたことから主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練る。「A表現」(1)ア(ア)イ
- ・造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深める。「B鑑賞」ア(イ)

#### 【学びに向かう力、人間性等】

- ・主体的に「自分の手」を深く見つめ総合的に考えたことなどを基にした「逆デッサン」作品の表現の創造活動に取り組もうとする。
- ・主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい「逆デッサン」作品について考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に取り組もうとする。

### 2 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>知</b> 「自分の手」の形や色彩、素材などの性質やそれらが感情にもたらす効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 <b>技</b> 明暗や光の質感などを捉え黒画用紙と色鉛筆の特性を生かすとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、主題を追求して個性豊かで創造的に表している。	<b>発</b> 対象となる「自分の手」を深く見つめ、明暗や光の質感などの美しさを総合的に考えたことから主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 <b>鑑</b> 造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。	<b>態表</b> 主体的に「自分の手」を深く見つめ総合的に考えたことなどを基にした「逆デッサン」作品の表現の創造活動に取り組もうとしている。 <b>態鑑</b> 主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい「逆デッサン」作品について考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

### 3 主な題材の学習内容と評価

学習のねらい、学習活動	評価方法
※「●」は、学習のねらい、「・」は、学習活動 1.導入、鑑賞 ●美術作品から作者の心情や表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 ・デューラーの「祈りの手」を深く鑑賞し、今回の逆デッサンとの関連性を考える。	(知識・技能) (思考・判断・表現) ・手の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深めているかを見取る。 【活動の様子、発言内容】

#### 2.発想や構想

- 主題を生成し、構想を練る。
- ・対象となる「自分の手」の形を捉える練習として、白い紙に鉛筆で描いていく。
- ・「自分の手」を見つめ、主題を生成する。
- ・黒画用紙と白鉛筆の特性を考え、創造的な手のポーズの構想を練る。

#### 3.制作(3時間)

- 発想や構想したことを基に創造的に表現する。
- ・「自分の手」をよく観察し、手の形、明暗や光の質感を生かし、創意工夫して表す。
- ・毎時、制作途中に自分と異なる表現をした他者の作品を相互鑑賞し、作品のよいところを共有し、表現したいものをより明確にしなが作品制作を行う。

#### 4.鑑賞(1時間)

- 自分と他者の作品を深く鑑賞し、美術作品の見方や感じ方を深める。
- ・最初は1人で鑑賞し、続けてグループで鑑賞する。

(思考・判断・表現)

- ・対象となる「自分の手」を深く見つめ、明暗や光の部分の美しさなどを総合的に考え、手のポーズや表現の構想を練っているかを見取る。

【活動の様子、作品、ワークシート】

(知識・技能)

- ・色鉛筆の特性、黒画用紙の特性について理解できているかを見取る。
- ・対象となる「自分の手」の造形的な要素の働きを理解し、明暗や光の質感を細部にわたって描いているかを見取る。
- ・逆デッサンでの表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表しているかを見取る。

【作品、活動の様子】

(思考・判断・表現)

(主体的に学習に取り組む態度)

- ・自分の作品に込めた思いや意図を伝え、鑑賞会では他者の作品を鑑賞し、作者の心情や表現の工夫を考え美術作品の見方や感じ方を深めているかを見取る。

【活動の様子、ワークシート】

